

卓球台を正しく安全にお使いいただくために

● 日常のメンテナンス

卓球台を正しくお取り扱い頂いている場合でも経年変化による故障が発生してきます。

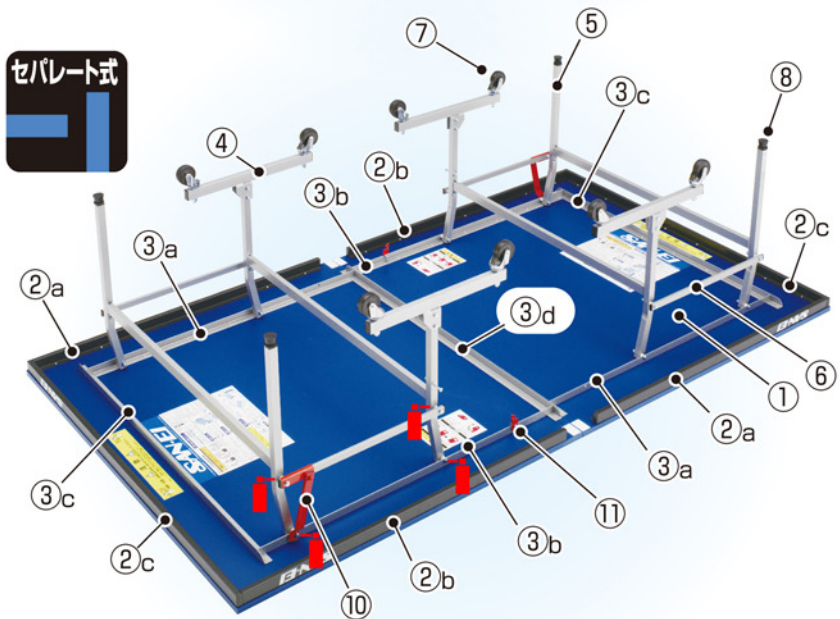
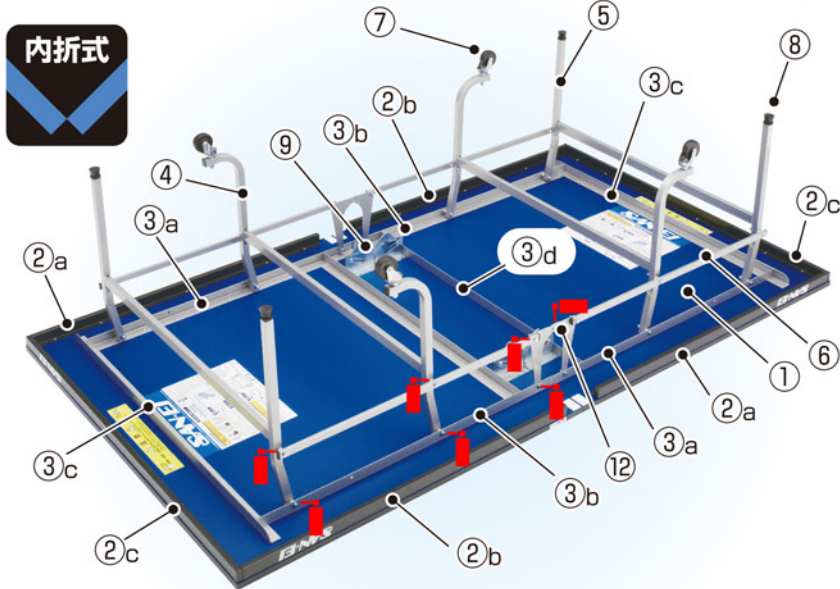
ここでは当社の代表的な卓球台の裏面構造をご紹介致します。修理・部品交換などの際にご参照下さい。

★天板、フレーム材、その他部品の交換などをおこなう場合において、不明な点がある場合は、当社あるいは専門業者様にご相談下さい。

★当社製品に、他社あるいは市販の部品等の取り付けはおこなわないでください。また当社より供給する部品を他社製品に取り付けしないでください。

●写真中の符号は下記点検表の符号と一致します。

●a・b・c・dの符号は、卓球台1台に対し、同名称部材にて、左用・右用・内側用・外側用等の種類があるものを示します。



ワンポイント 木ねじのゆるみは増し締めをする、塗装のはがれは塗料で補修するなど、ちょっとしたメンテナンスで卓球台の寿命がのびるだけでなく、卓球台の破損による思わぬ事故を回避することにもつながります。詳しいメンテナンスのしかたは卓球台に添付されている取扱説明書をご覧ください。

●スムーズで安全な開閉は
 連結部には定期的な市販のオイル系潤滑剤を塗布してください。動きがスムーズになると共にサビの発生を抑制できます。(下記マークで示した部分が対象です。)

蝶番には定期的な市販のグリススプレーを塗布してください。蝶番の寿命が延び、開閉操作がスムーズになります。

! 卓球台をご使用になる前に必ずアジャスターを調節して下さい。

●高さの微妙な調節は
 外脚のアジャスターを調節して微妙な高さ調節ができます。調節後はロックナットを完全に締めてください。(一部機種にはロックナットのないものもあります。)

●キャスターを長持ちさせるために
 移動する場所・器具庫等の出入りに段差がある場合など、凹凸面を通過させると、キャスターの寿命が著しく低下します。そのような場合には凹凸をなくするためのスロープや板を渡すなどしてください。

●ベストな状態を保つために
 天板は乾いたやわらかい布でふいてください。また、直射日光の当たらない湿度の低い場所に保管してください。

日常(使用前・使用后)の点検箇所と処置方法(例)

点検箇所	点検箇所と処置方法	点検箇所	点検箇所と処置方法
①天板 ②枠板(木製)	ひびわれ・けさ・さくれはないか? ●サンドペーパーなどでさくれ等を除去し必要に応じ塗装のはがれはないか? ※上記処置方法は、ネットサポートの取り付け部・天板エッジ・枠板などの場合に限っておこなってください。天板表面のヘコミやキズは補修・塗装はボールのバウンドなどに大きく影響するため、お奨めできません。(天板交換に関しては弊社までお問い合わせ下さい。)	⑧蝶番	●スムーズな動作が得られない場合は市販のスプレーグリスを塗布して下さい。また正常な場合でも、1ヶ月に1回程度の塗布をお勧めします。(食用油やグリス以外を塗布しないで下さい。) ●蝶番はほこりを嫌います。常にほこりを取り除いて、スムーズな動作をするように、清掃して下さい。
②枠板(鉄製) ③フレーム ④内脚 ⑥外脚 ⑩連結棒 ⑫中央部連結板	●塗装のはがれは、サビを取り除いた上でラッカー系の塗料で補修して下さい。 ●キャップの割れ、脱落は、指などに怪我を負う危険性がありますので、新しいものと交換して下さい。 ●溶接部のさげつは放置しておくとは大変に危険です。修理は販売店にご相談下さい。	⑩使用時ストッパー ⑪収納時ストッパー	●異常が見られた場合は新しいものと交換して下さい。
⑦キャスター ⑧アジャスター	●車輪にゴミや糸くずなどが絡まっている場合は取り除いて下さい。 ●異常が見られた場合は新しいものと交換して下さい。	ボルト・ナット・木ネジ	●木ネジの緩みは、ドライバーで締め付けて下さい。 ●ナットが脱落している時は直ちに新しい物を取り付けて下さい。 ●ボルト・ナットの定期的な増し締めは販売店にご相談下さい。

●上記の卓球台は一般的な形状を示しますので製造時期による違いや、現在発売されているものでも形状・部品等の位置・有無が異なる卓球台があります。

●異常がみられた場合は直ちに使用を中止して「使用禁止」等の表示をするなど、管理者以外の方がさわったり使用できない様、適切な処置を講じて下さい。

